

1-2-3-13					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	特別展・企画展				
事業内容・目的	調査研究の成果の公表及び所蔵されている資料を広く展示公開し、町の歴史や自然をより深く理解するための特別展・企画展を実施します。				
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	88%				
決算額	128千円				
評価	B				

令和元年度（2019）実績

1. 見学者の満足度-88%②のみ（アンケート回答17人）

①令和2年白老町に開館予定の国立アイヌ民族博物館のPR展を実施。施設の概要などのパネル展示となりました。（国立アイヌ民族博物館開設準備室共催）

②別海町拓殖産婆研究会がまとめた「北の開拓地で生命をむかえる-拓殖産婆と開拓保健婦たちの足跡～別海町お産の歴史～」と寄贈された関係資料を紹介したものととなりました。町内で活動している研究者の調査成果の公表の場として大変好評でした。

なお、この特別展は、中央・西・東公民館で移動巡回展として予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止としました。（次年度開催予定）

期 日	場 所	内 容	入館者数
①10月7日 ～27日	郷土資料館	国立アイヌ民族博物館PR展	52人
②2月4日 ～16日	図書館	「北の開拓地で生命をむかえる-拓殖産婆と開拓保健婦たちの足跡～別海町お産の歴史～」	集計無

②の見学者の感想（アンケートから）

- ・この地域の周産期死亡などが昭和40年代まで高く、母子センターの設立と共に改善したこと、妊産婦死亡がなかったことに助産師さんたちの頑張りを見せていただきました。
- ・簡潔でわかりやすい展示でした。けっこう展示物を見ている人が多い様に感じました。図書館から産婆研究会で出した本を借りましたが、今回の特別展で拓殖産婆、開拓保健婦さんが献身的に地域で奉仕している姿を再認識しました。これからも寄贈されたものを利用して特別展が開かれることを期待しています。
- ・大変な苦勞をして産婆さん、保健婦さん達が活躍し今があることに感謝です。本当によくこれだけのことを一生懸命（5年間）調査し立派な本を作り上げた清水さん、小泉さんありがとうございました。
- ・本当にこのようにまとめて下さったことにただただ感謝です。大河ドラマにもなりうる内容だと思います。このような先人のみなさんの生命のバトンがなければ私自身も存在はなかったし、別海町の発展もなかったと思います。生命を産み、育む観点から別海町の歴史を学ぶ機会を子どもたちにぜひ伝えたいです。
- ・当時の苦勞が感じ取れました。産婆さん達の苦勞で今日の別海町の人口を支えていただいたんだなあ～と感謝と感激です。



国立アイヌ民族博物館PR展



特別展「別海町お産の歴史」

1-2-3-14					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土学習出前講座				
事業内容・目的	学校・各種団体の要望に応じて、郷土に対する理解を深めるための講座を開設します。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	80%				
決算額	12千円				
評価	B				

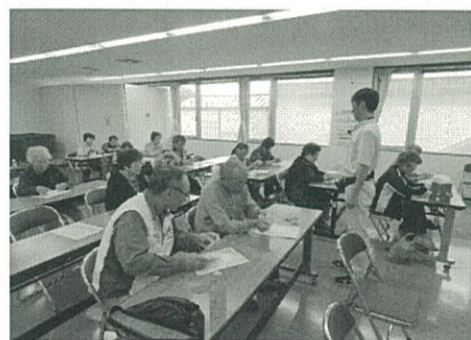
令和元年度（2019）実績

1. 受講者の満足度-87%（アンケート回答4団体）

月 日	事業名とその内容	受講者数	担当職員等
4月25日	上春別小学校6年生 「大昔のべつかい・勾玉づくり」	16	石渡主幹
6月28日	西公民館寿大学 「大昔のべつかい・勾玉づくり」	19	石渡主幹
8月2日	中春別中学校職員研修「加賀家文書とアイヌ民族」	8	石渡主幹
8月8日	秋田県北方領土推進協議会「加賀家文書について」	20	石渡主幹
9月4日	中央公民館リクエスト講座「野付半島の歴史について」	25	石渡主幹
9月9日	野付小学校アウトドアクラブ 「大昔のべつかい・勾玉づくり」	13	石渡主幹
10月19日	北海道立文書館古文書解説講座（中標津町会場） 「加賀家文書-松浦武四郎の書簡を読もう！」	10	石渡主幹
12月10日	別海中央小学校4年生「加賀伝蔵と献上鮭」	39	石渡主幹
12月12日	別海中央小学校4年生「加賀伝蔵と献上鮭」	37	石渡主幹
2月4日	上春別小学校4年生「加賀伝蔵と献上鮭」	19	新堀館長



中央公民館リクエスト講座「野付半島の歴史について」



西公民館寿大学「大昔のべつかい」

1-2-3-15					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	出前移動展				
事業内容・目的	これまでに実施した特別展のパネル資料などを学校・各種団体の希望に応じて貸出し、移動展を実施することにより、町の歴史や自然を身近に感じてもらいます。				
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	86%				
決算額	-				
評価	B				

令和元年度（2019）実績

1. 見学者の満足度-86%（アンケート回答11人）

町内及び釧路管内で移動展を実施した。令和元年度の特別展の移動展（中央・西・東公民館）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止とした。

期 間	事業名と内容	備 考
10月1日 ～31日	野付半島ネイチャーセンター 特別展「松浦武四郎が見た根室管内と北方領土」	解説パネル24枚
1月12日	釧路市遊学館 ジオ・フェスティバルin・Kushiro2019 「マンモスゾウがいた頃・津波堆積物」	総展示資料数6点 (パネル・実物・模型等)
3月16日 ～31日	老人保健施設すこやか（地域回想法事業を兼ねる） 「小澤彦三が見た昭和初期のべつかい」	パネル20枚

見学者の感想（アンケートから）

「松浦武四郎が見た根室管内と北方領土」（野付半島ネイチャーセンター）より

- ・蝦夷地のことをあまり知る機会がないので、よかった。
- ・武四郎とアイヌの身近な地域でのことが知れてとても良かったです。
- ・自然・先住民、多くを学べるこの地に感謝。武四郎を主軸として北海道を知る事が出来ました。
- ・松浦武四郎さんの展示を見て勉強になりました。ありがとうございました。



ジオ・フェスティバルin・Kushiro2019（釧路市遊学館）

1-2-3-16					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	資料の有効的活用のための貸出				
事業内容・目的	郷土資料の有効的活用を図るため、可能な限り貸出を行い、郷土学習に役立てます。				
評価指標	1. 利用者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	90%				
決算額	-				
評価	A				

令和元年度（2019）実績

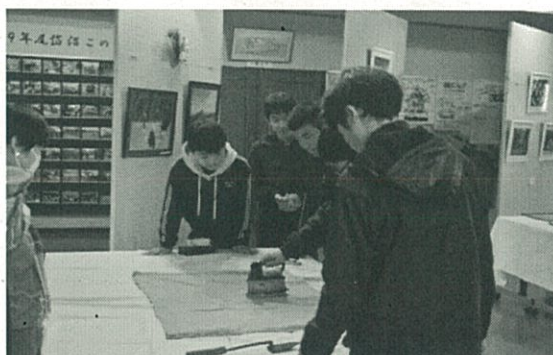
1. 利用者の満足度-90%（アンケート回答3件）

関係機関や各団体の要望に応じての貸出であるため、件数については流動的であります。さらなる有効的活用のための貸出を行うためには、資料基本台帳の整備及び公開が急務であります。

期 間	内 容	貸出資料
4月27日	東公民館 「第35回尾岱沼地区子どもまつり」に使用のため	せんべい焼き器-5点
6月4日 ～10月11日	北海道博物館 第5回特別展「アイヌ語地名と北海道」展示のため	加賀家文書等資料（アイヌ語関係資料）-4点
6月28日 ～7月18日	中西別小学校 校内展示のため	小沢彦三が見た昭和初期のべつかいパネル-10点
7月5日	一般財団法人北海道歴史文化財団 北海道博物館第5回特別展 「アイヌ語地名と北海道」図録印刷のため	加賀家文書等資料（アイヌ語関係資料）-4点
10月4日	株式会社山川出版社 書籍『近世蝦夷地在地社会の研究』掲載のため	加賀家文書等資料（アイヌ絵）-1点
11月22日	東公民館 「異世代交流会事業」に使用	炭火アイロンほか-4点
11月29日 ～12月4日	西公民館 「寿大学」に使用	昭和の古写真（DVD）
3月11日	株式会社平凡社 書籍『別冊太陽アイヌの歴史をたずねて』掲載のため	加賀家文書等資料（加賀伝蔵所蔵画）-1点



東公民館 尾岱沼地区子どもまつり「せんべい焼き器」

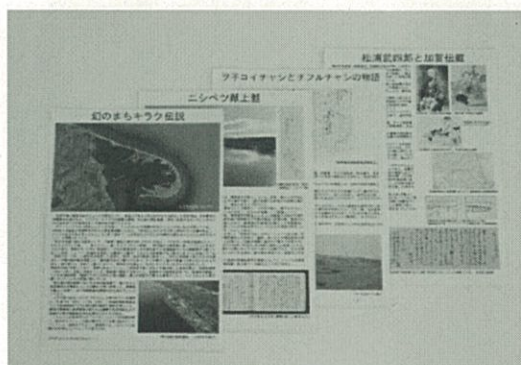


異世代交流会「炭火アイロン」

1-2-3-17					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土学習推進に関わる刊行物の作成				
事業内容・目的	郷土学習推進のために町の歴史や自然、郷土資料に関わる調査・研究の成果を広く紹介するために刊行物を計画的に作成し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。				
評価指標	1. 作成件数				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	1	1	1	1	1
実績1	3				
決算額	18千円				
評価	C				

令和元年度（2019）実績

- ①附属施設加賀家文書館展示解説シート「幻の町キラク」「北海道の名付け親松浦武四郎と加賀伝蔵」「ニシベツ献上」「ヲ子コイチャシとチフルチャシの物語」の刊行。
- ②郷土資料館展示解説シート「別海町の歴史（簡易版）」の刊行。
- ③「別海町郷土資料館だよりNo.237～248」の刊行。当館、役場、西・東公民館、ホームページで掲載。（広報活動の充実と重複）



附属施設加賀家文書館展示解説シート



別海町郷土資料館だより

2-2-2-17					
分類	2-2-2 生涯各期-青少年期	担当課	郷土資料館		
推進目標	魅力ある様々な体験的学習活動を展開するとともに、他地域・異学年交流を充実します。				
事業名	郷土資料館サマー・ウィンタースクール				
事業内容・目的	郷土の歴史や自然を理解する心を持たせるとともに、21世紀の別海町の未来を探究させる心を育てます。（夏休み・冬休み中）				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	97%				
決算額	10千円				
評価	A				

令和元年度（2019）実績

1. 受講者の満足度-97%（アンケート回答24人）
もの作りを通して別海の歴史を知ることが出来るなど大変好評でした。

サマースクール

期 日	場 所	内 容	受講者数
8月1日	郷土資料館	「大昔のべつかい 勾玉づくり」 講師 別海町郷土資料館 主幹 石渡 一人	20人 (内保護者3人)

ウィンタースクール

期 日	場 所	内 容	受講者数
1月10日	郷土資料館	「昔の遊び・凧づくり」 講師 郷土資料館職員	4人

参加者の感想（アンケートから）

○サマースクール

- ・子どもたちに混ざって参加させて頂いてありがとうございました。とても気に入る物が出来ました。楽しかったです。
- ・石が以外とやまらかく（白色）形にしやすかった。水でこすったとき、色のはっきり分かるのが楽しかったです。
- ・手とり足とり教えて頂きたすかりました。あきらめかけましたが、いい形にしあがって良かったです。手は痛いですが楽しかったです。ありがとうございました。
- ・がんばってつくった。さいごにはきれいな勾玉が完成してうれしかったです。ありがとうございます。たのしかったです。
- ・勾玉を作るときに形をととのえるところが、むずかしかったです。今回のたいけんを自学などでいかせそうです。たのしかったです。また、今度もやりたいです。
- ・今日は勾玉のことがけっこうわかって、またしきがふえ、今度は茶わん（昔）を作ってみたいと思いました。そして、すごかったのしかったです。

○ウィンタースクール

- ・よくできた。がんばってできました。きれいにえをかけた。
- ・いとをとおすところがむずかしかった。



サマースクール



ウィンタースクール

2-4-3-03					
分類	2-4-3 生涯各期-高齢期		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	所蔵資料を活用した地域回想法事業				
事業内容・目的	認知症を有する高齢者やその予備軍に対して、所蔵資料を活用した地域回想法への取組を目指す。				
評価指標	1. 進捗状況				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	-				
評価	C				

令和元年度（2019）実績

・老人保健施設すこやかにて「小澤彦三が見た昭和初期のべつかい」パネル展を実施。（3月16日～31日）通所・入所者の反応を伺い今後の事業展開の参考とした。事業実施のためには、提供出来るソフトの作成が急務である。

・アンケート調査の結果

①見学者の反応（施設から）-大変満足、各々で思いを馳せて懐かしそうにご覧になっていました。普段見る事が多い笑顔とは一味違った表情でした。今後もこのような展示を希望します。



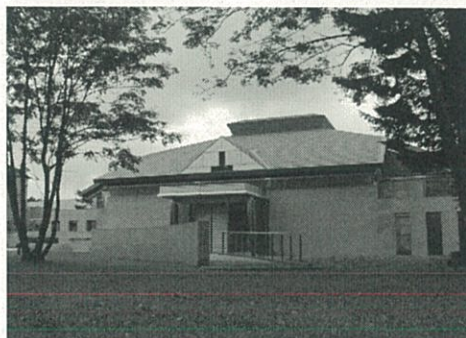
3-4-1-01						
分類	3-4-1 施設・機関-郷土資料館		担当課	郷土資料館		
推進目標	郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産(郷土資料)を継承					
事業名	郷土資料館の整備					
事業内容・目的	老朽化した郷土資料館・豊原分館の整備方針を策定し、計画的な整備を進めます。附属施設加賀家文書館については、計画的な改修を行います。					
備考	※R 3からの計画は、改築・新築の場合の計画					
実施計画	R1	調査・準備				
	R2	調査・準備				
	R3	基本構想策定				
	R4	基本計画策定				
	R5	実施計画策定				
	R6	工事・展示制作				
	R7	工事・展示制作				
	R8	工事・展示制作				
	R9	開館				
	R10					
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
決算額	108千円					
評価	○					
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画						
評価						
1. 郷土資料館・豊原分館については、『別海町博物館基本構想【提言書】～別海町教育委員会郷土資料館整備事業内部検討会議整備方針として～』（令和2年3月）により整備方針をまとめた。						
2. 附属施設加賀家文書館については、『別海町社会教育施設長寿命化計画』を策定した。						



郷土資料館



豊原分館



附属施設加賀家文書館

その他の事業

事業名	内容・実施時期など
町機関対応関係	●別海町教育委員会生涯学習課文化財担当所管 ①埋蔵文化財包蔵地確認調査（カッコはヶ所） 4月22日(1)、5月31日(1)、8月7日(1)、10月25日(1)、11月11日(1)
	●西春別中学校職場体験受入 男子1名（6月5日～6日）
研究機関等対応関係	●北海道博物館大坂学芸員 「加賀家文書等資料-アイヌ民族資料調査」 （6月11日）
	●北海道博物館東・田村学芸員 「北海道博物館特別展に伴う加賀家文書等資料借用」 （6月14日）
	●文化庁国立アイヌ民族博物館準備室薮中剛司課長他4名 「加賀家文書館所蔵資料調査」 （8月2日）
	●場所請負人藤野嘉兵衛子孫藤野佳豊氏 「加賀家文書館及び藤野缶詰工場調査」 （8月22日）
	●北海道地質研究所広瀬氏 「町内埋蔵文化財発掘報告書調査」 （12月16日）
	●別海町拓殖産婆研究会清水氏・小泉氏 「令和元年度特別展打合せ」 （12月25日・1月17日・2月21日）
	●北海道博物館尾曲・表・渋谷学芸員 「湖面漁業に関する資料調査」 （3月16日）
報道機関対応関係	●斜里町知床博物館三浦・平河内学芸員 「鮭漁に関する資料調査」 （3月26日）
	●特別展・資料展示・講座開催等に伴う取材16回 北海道新聞(6)、釧路新聞(4)、読売新聞(2)、日本農業新聞(1)、総合企画(1)、NHK(2)

